

令和7年度 大阪市立天満中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○3年生全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞ 正答率は大阪府平均より3ポイント上回り、全国平均を0.7ポイント上回った。評価の観点では、「知識・技能」の正答率が、全国平均と大阪府平均よりも高くなった。また、学習指導要領の内容では、「思考力、判断力、表現力等」の項目Bの正答率が高く、正答率が大阪府平均から3.6ポイント、全国平均から1.3ポイント上回った。

＜数学＞ 正答率は、大阪府平均を6ポイント、全国平均を4.7ポイント上回っている。評価の観点では、「思考・判断・表現」の正答率が、大阪府平均から8.4ポイント高く、全国平均から6.7ポイント高くなった。問題形式の記述式の正答率が大阪府平均より7.1ポイント高く、全国平均より5.5ポイント高くなった。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

＜成果＞

5教科の平均点は大阪府平均53.7点と比較し、本校平均57.3点と3.6ポイント高くなった。特に、英語の平均が大阪府平均より4.9ポイント高く、次に数学の平均も4.4ポイント高くなっている。英語と数学とも平均無回答率も大阪府平均より低い点数となっていることが良い結果につながっていると考えられる。

＜課題＞

国語の無回答率が大阪市平均より高い点数となっている。平均点は、大阪府・大阪市平均より良い結果になっているが、観点別平均点の「知識・技能」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」が大阪府平均より少し低くなっているのみで、その他の観点別平均点の点数は高くなっている。

全教科で基礎的な知識や技能を習得することができ、それらを活用して課題を解決するための能力を育むことができている。これを次の学年が維持していくことが必要となる。

【今後に向けて】

【今後に向けて】